

令和7年度第2回滑川市総合教育会議会議録

1 開催日時 令和8年2月25日（水） 午後3時50分～

2 開催場所 市役所東別館3階 中会議室

3 出席者氏名

市長	水野 達夫
教育長職務代理者	金谷 潤子
教育委員	平田 均
教育委員	水口 明博
教育委員	山口 一太郎
教育長	上田 良美
(事務局)	
総務部長	石川 久勝
教育委員会事務局長	高倉 晋二
教育総務課長	山谷 大有
子育て応援課長	林 昌枝
生涯学習・スポーツ課主幹	黒田 聡彦
教育センター所長	此川 美奈代
教育総務課係長	蜷川 博之

4 会議日程

1 市長あいさつ

2 協議事項

日程第1 滑川市教育大綱（案）について

日程第2 滑川市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（案）について

5 会議の要旨

- 高倉局長 それでは、これより令和7年度第2回滑川市総合教育会議を開催する。最初に、水野市長に挨拶をお願いする。
- 水野市長 (あいさつ)
- 高倉局長 会議の進行については、滑川市総合教育会議設置要綱第4条の規定に基づき、市長が議長となることとなっているのでお願いする。
- 水野市長 それでは、「日程第1 滑川市教育大綱(案)について」事務局から説明願う。
- 高倉局長
山谷課長
黒田主幹
林課長 (滑川市教育大綱(案)について説明)
- 水野市長 ご意見等があれば。
- 金谷教育長
職務代理者 現行の教育大綱よりも見やすく、分かりやすくなったと思う。さまざまな家庭環境にある子どもたちが安心して暮らせるよう、切れ目のない子育て支援が大切である。また、生涯教育については介護予防、健康寿命の延伸にもつながると思う。
- 水口委員 私も現行の教育大綱と比べて見やすくなり、内容が充実したと思う。熱中症対策や災害時の避難所機能の強化としての学校の体育館への空調設備の整備については、第3次滑川市教育大綱の計画期間である5年間をかけて順番に実施していく予定なのか。
- 高倉局長 令和8年度は東部小学校及び西部小学校の体育館に空調設備を整備する予定である。令和9年度以降については、児童数、学校体育施設開放利用者数、避難想定収容人数等を総合的に勘案して整備の順番を決定していきたいと思う。昨今の猛暑については想定を超える暑さであることを認識しており、各小学校の体育館に一斉に空調設備を整備できたらよいと思うが、工事費が多額であり国の交付金を財源としていることから順番に施工せざるを得ない状況である。教育大綱については5年間の計画だが、学校の体育館への空調設備の整備についてはなるべく前倒しで進めていきたいと思う。
- 山口委員 私自身も子育て世代であるので、魅力ある学校づくりの推進に力を入れてほしいと思う。私の経験上、毎日学校へ登校している子どもであっても安心できないと考えている。元気に登校しているように見えても、家庭環境があまりよろしくなく、両親の帰りが遅くずっと一人で家にいるという子どももいる。そういった子どもを学校だけで支援するのは難しい。地域の人々の力も取り入れて、学校に登校できる子どもも登校できない子どもも両方を支援するような滑川市であってほしいと思う。

高倉局長 p. 5に記載されている各課における主な取組については、教育委員の皆さんからの意見等を踏まえて内容を再度精査し、完成版でお示ししたいと思う。

水野市長 続いて、「日程第2 滑川市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（案）について」事務局から説明願う。

山谷課長 （滑川市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（案）について説明）

水野市長 ご意見等があれば。

水口委員 「2 計画の目標・取組期間」に「時間外在校時間が月45時間を超える教職員をゼロにする。」という目標があるが。

山谷課長 県もこのように記載してある。

水口委員 在校時間であって労働時間ではないので、自宅へ持ち帰って仕事をするのが多くならないかという懸念がある。

山谷課長 アンケート調査を実施し、仕事と家族、自分の時間のバランスがとれていると感じる教職員の割合を向上させることで、自宅へ持ち帰って仕事をせずに自分の時間をもったり、家族と過ごす時間を増やしたりできるようにしていきたいと考えている。

水野市長 時間外在校時間とは。

山谷課長 超過勤務時間のことである。

水野市長 在校時間＝勤務時間なのか。

山谷課長 そうである。

水口委員 今後、早く帰宅する教職員が増えるものと思うが、その結果、自宅へ持ち帰って仕事をするのがないように注視していく必要がある。

上田教育長 「時間外在校時間」は文部科学省で使用している名称である。超過勤務時間とは表現していない。

水口委員 在校時間が長いことは、悪いことなのか。

山谷課長 アンケート調査を実施し、授業の準備や自己研鑽をする時間を確保できていると感じる教職員の割合を高めていきたいと考えている。ただだと残業するのではなく、自分のために時間を使い、バランスのよい生活ができているかといったことを確認しながら進めていきたい。

水口委員 やる気をもって業務に取り組んでいる教職員もいるが、業務を負担に感じてい

る教職員もいると思うので、とらえ方が難しい。

- 山谷課長 p.4を見ると、時間外在校時間の月平均時数が80時間以上である教職員は年々減ってきているが、45時間以上80時間未満の部分にシフトしているという現状があるため、これを改善することが必要である。そうすることで、年間の平均時間外在校時間が減るものと思われるが、ゼロにするのはなかなか難しい。
- 金谷教育長
職務代理者 残業時間についてはゼロになればよいと思う。自分の経験では90分間の授業を行う際、教材の準備に結構時間がかかった。中学校の教員は教科担当制だが、小学校の教員は担任制であり、教材の準備の時間を確保しないといけないので、大変であると思う。
- 上田教育長 教員の業務を少しでも緩和できるように、市内ではチーム担任制の取組を実施している。小学校では理科の得意な先生は理科を、音楽の得意な先生は音楽を教えるといったように得意なことを活かせば教材研究の時間を少なくできる。このような教科担任制の取組が小学校でも少しずつ浸透してきている。
- 平田委員 時間外在校時間を減らすことは大事だが、家庭へ仕事を持ち帰る教職員が増えることは問題である。教職員が心も体も健康に過ごせるよう、学校でも家庭でも明るく生活できるようにしっかりと見届ける必要があると思う。
p.5の評価の欄に○、△、×とあるが、これは誰がどのようにして決定したのか。
- 山谷課長 本市の状況について、過去の議会答弁等の内容を勘案して主観的に作成したものである。評価の内容について、皆さんから意見等をいただきたいと思う。
- 平田委員 教育委員会で評価したのか。
- 山谷課長 そうである。
- 水野市長 ○、△、×の評価については、どのようなことを示しているのか。
- 山谷課長 ○については「概ねできている」、△については「一部できている」、×については「ほとんどできていない」を示している。
- 水野市長 国がこのような評価をするように定めているのか。
- 山谷課長 国が「学校以外が担うべき業務」、「教師以外が積極的に参画すべき業務」、「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」を「学校と教師の業務の3分類」として定めている。
- 上田教育長 評価については、○、△、×で実施するのか。それともA、B、Cで実施するのか。
- 山谷課長 ○、△、×でもA、B、Cでもよい。
- 水野市長 凡例について分かるように、記載したらよい。

山谷課長	記載したいと思う。
山口委員	「学校と教師の業務の3分類」の内容については、市で選んだのか。
山谷課長	全て国が示したものである。
山口委員	早急に対応が必要な項目等について、優先順位をつける必要があるのではないかと思う。そうしないと、どの項目も5年間の計画期間内で実施することができないのではないか。
山谷課長	p. 6に「業務の3分類」を踏まえた業務の見直しとして、今後の対応等について具体的に記載してある。
水野市長	p. 5の評価の欄に×や△が付いている項目については、p. 6以降の業務の見直しにおいて、今後の対応等の欄に優先順位を決めていつ頃までに実施するかを記載したらよいのではないか。
山谷課長	そのように記載したいと思う。
金谷教育長 職務代理者	給食の時間に担任が不在になることはあるのか。
上田教育長	ない。担任が不在となる場合でも、他の教職員が必ず給食指導を行っている。
金谷教育長 職務代理者	「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」に「給食の時間における対応」とあるが、これは担任の業務なのか。
山谷課長	学校給食共同調理場には栄養教諭が2名いる。その2名が給食の時間中に来校し、食に関する指導を行うものである。
高倉局長	今回お示しした「滑川市教育大綱（案）」については、事務局による軽微な修正をもって最終稿とさせていただきたいと思う。また、「滑川市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（案）」については、教育委員の皆さんにご意見等を述べてもらい、内容について修正等を行いたいと思う。後日、修正等が完了し次第、皆さんにお示ししたいと思うのでよろしく願います。
水野市長	それでは、その他に何かご意見等があれば。
金谷教育長 職務代理者	少子高齢化が進行する中、医療福祉関係の人材の確保が課題であると思う。自分の町内でもみんなで見守り付き合いをし、微力ながらみんなで態勢を整えて支え合っていこうとしている。お互いに支え合っていないと大変であると思うのでよろしく願いたい。
水口委員	体育館等、市内のスポーツ少年団が活動する場をしっかりと確保できるよう願いたいと思う。

水野市長 事務局から何かあれば報告願う。

蜷川係長 本日配付した資料については、各自持ち帰っていただき、「滑川市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（案）」については意見等があれば2週間後を目途にメールで送付願う。

水野市長 皆さんご多用のところ、貴重なご意見をいただいた。これで本日の令和7年度第2回滑川市総合教育会議を閉会する。

(終了 午後4時50分)